

<活動内容>

11月16日~19日に熊本で開催された The 20th International Acoustic Emission Symposium に参加し、口頭発表を行った。また11月19日に Rilem の委員会に出席し、聴講した。

<感想>

大学院生として3回目の国際学会の発表だったが、入念に発表準備、練習した。前回のスコットランドでの国際学会で、発表に関しては自分の最大限の力を発揮することができたが、質疑応答は思うように英語で伝えることができなかった。その反省を踏まえ、今回の発表前に同じ研究室の留学生と何度も英語での質疑応答を練習した。また留学生の声をボイスレコーダーで録音し、その発音に可能な限り近づけるように何度も発音練習を繰り返した。

迎えた本番発表では、自信をもって発表することができ、さらに前回よりスムーズに質問に答えることができた。3人の方に質問して頂いたことが何よりもうれしかった。

このように国際学会の場に参加したことは大きな刺激になった。英語のリスニング、スピーキング、プレゼンなど技術的な面でまだまだ未熟であることを再認識した。また、単に英語能力を伸ばすだけでなく、一人の日本人である私が人間的に成長することの重要性も感じた。使用言語は英語であっても、最終的には人対人の関わりであることを忘れないでおきたい。